

2026年度

脇田橋

福山市 神辺町 地内

橋梁修繕工事実施設計書

工
事
概
要

工事延長	L=15.5m
橋長	L=15.5m
有効幅員	W=2.0m
塗装剥離	A=57m ²
仮設工	一式

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（脇田橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和8年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事はは広島県河川管理者との協議により、2026年（令和8年）6月16日から2026年（令和8年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。
受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 鋼部材の既設塗料に含まれる物質

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含有していることが事前調査で判明している。

物質名	: 含有量
鉛	: 23000mg/kg
総クロム	: 110mg/kg
P C B	: 0.96mg/kg

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：仮設足場、環境対策資機材

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第7節 特別管理産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）P C B含有量基準値超え

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料にはP C Bが含有しているため、塗替塗装の剥離やかき落とし作業で発生する既設塗料の廃棄物（以下、塗料廃棄物）は特別管理産業廃棄物となる。
- ・特別管理産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。さらに、P C Bを含有する廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（以下、P C B特措法）を厳守し、適正に処理しなければならない。
- ・塗料廃棄物は鋼製のドラム缶またはペール管に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。
- ・なお、本工事における作業服等の防護具の購入・処分の積上げ数量は、対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な数量を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による防護具の購入・処分の積上げ数量の増加に対する変更は行わない。
- ・上記のほか、塗料廃棄物の保管・収集・運搬については、「低濃度P C B廃棄物収集・運搬ガイドライン（令和25年6月）」に基づいて行うものとするが、密閉保管後の運搬処分は、別途業務委託するため、本工事では見込んでいない。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 塗膜除去の工程

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料にはP C Bが含有しているため、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により、2027年（令和9年）3月31日までに処分を完了する必要がある。別途発注予定の「低濃度P C B廃棄物等収集及び処分業務委託（橋本橋外1橋）」により期日内に運搬処分が完了するよう、塗膜除去の工程を計画して実施すること。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代		前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	08 鋼橋架設工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0322 レベル2
現場塗装工	1	式			Y1A040901 レベル3
塗装除去	1	式			Y1I06061603 レベル4
塗膜除去工(バキュームブラスト工法) 有害塗膜 時間的制約なし、小規模	54	m2			V000000100 00 主桁 単第0 -0001 表
塗膜除去工(バキュームブラスト工法) 有害塗膜 時間的制約なし、小規模	3	m2			V000000400 00 横桁 単第0 -0004 表
仮設工	1	式			Y1G0326 レベル2
橋梁足場工	1	式			Y1A041201 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場 【安全ネットの有無】		掛m2			Y1A01070904レベル4
足場工 防護工、シート張防護工含む	1	式			V000000600 00 単第0 -0005 表
ばく露防止	1	式			Y1G032614 レベル3
はく露防止対策		m2			Y1A04100301レベル4
環境対策機材	1	式			V000000700 00 単第0 -0010 表
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
安全費					Z0009
安全費	1	式			YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

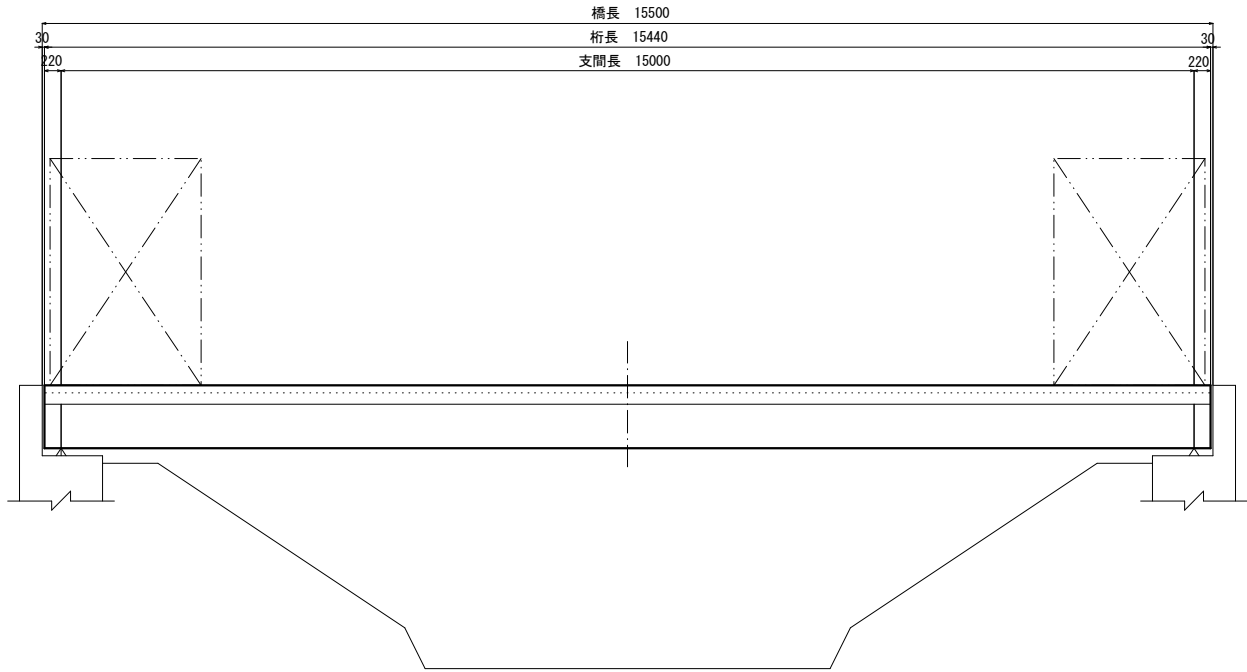
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
呼吸用保護具等費用					YZZ09001002レベル4
		式			
安全衛生保護具					V000000800 00
	1	式			単第0 -0011 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…

本工事費 内訳表

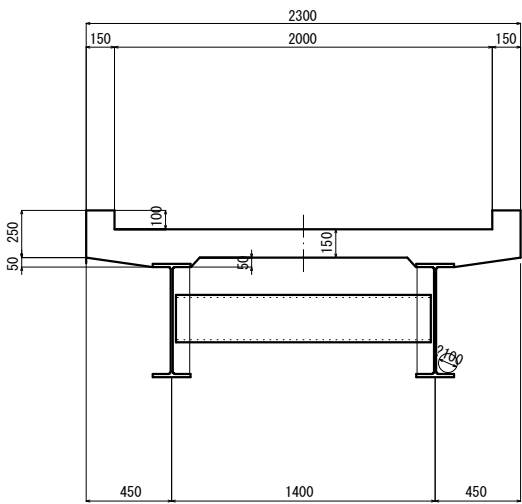
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額…… 率……					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

全体一般図

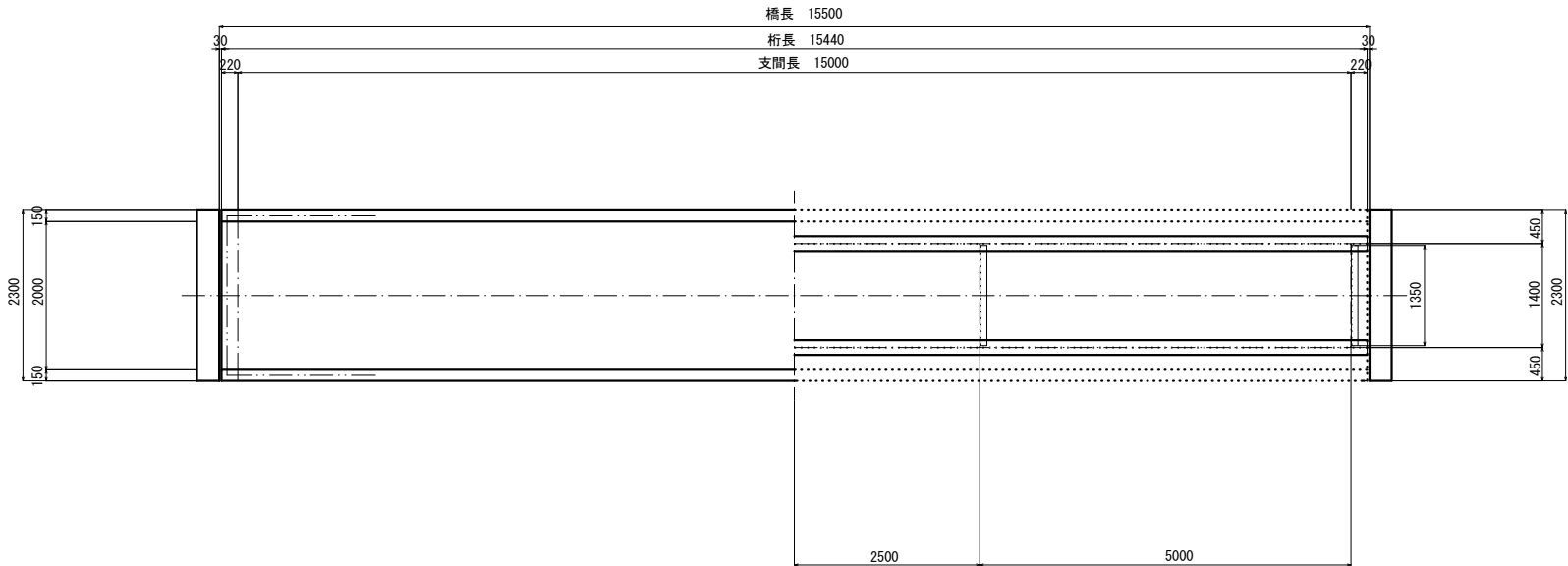
側面図 S=1:50



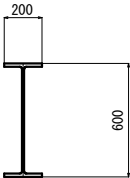
上部工断面図 S=1:20



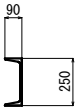
平面図 S=1:50



主桁 (2本)
H-600×200×11×17



横桁 (4本)
250×90×9×13

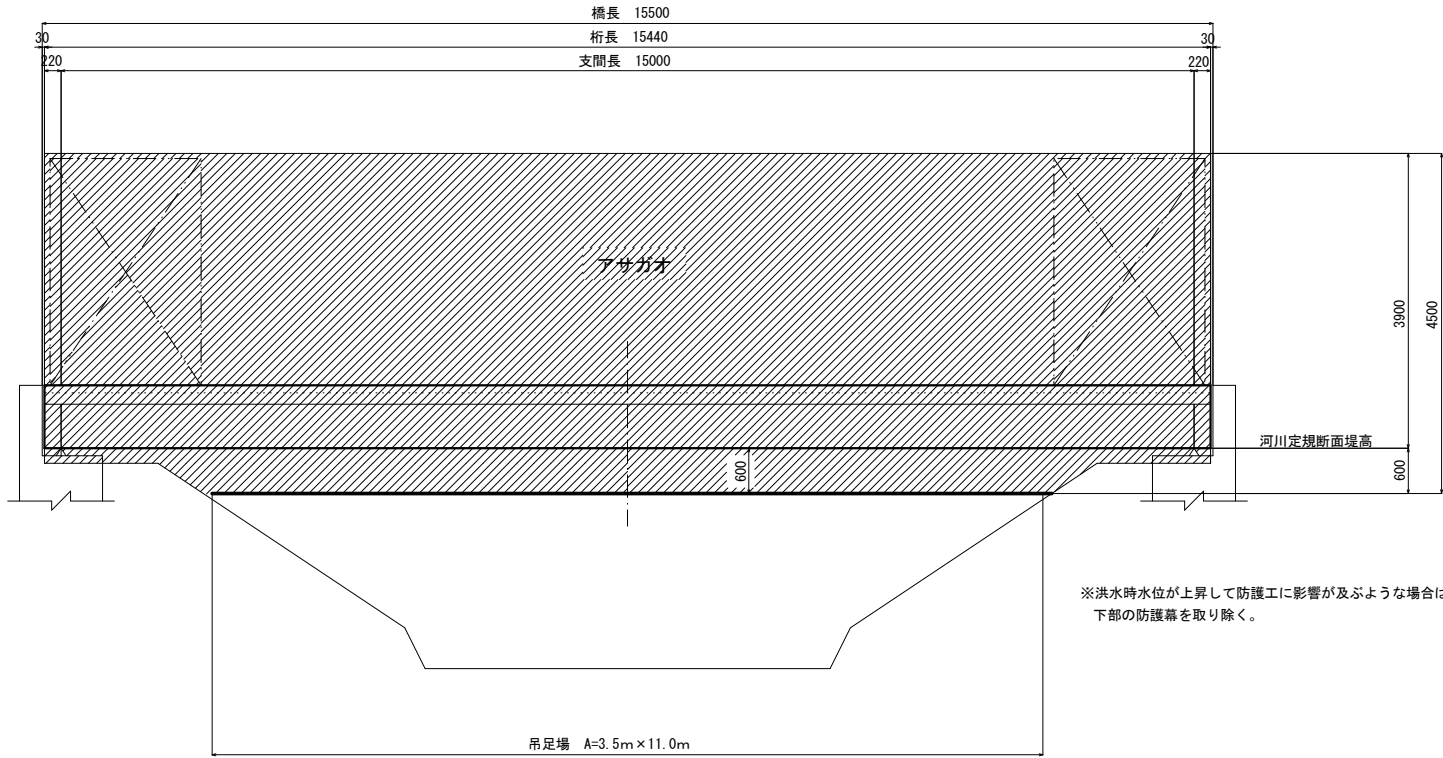


A1→A3に50%縮小印刷

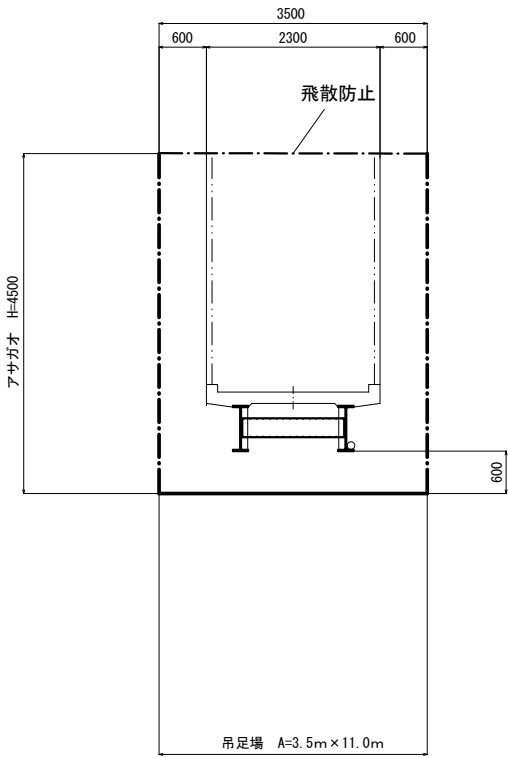
工事名	橋梁修繕工事(脇田橋)		
図面名	全体一般図		
作成年月日	2026年8月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

仮設工一般図

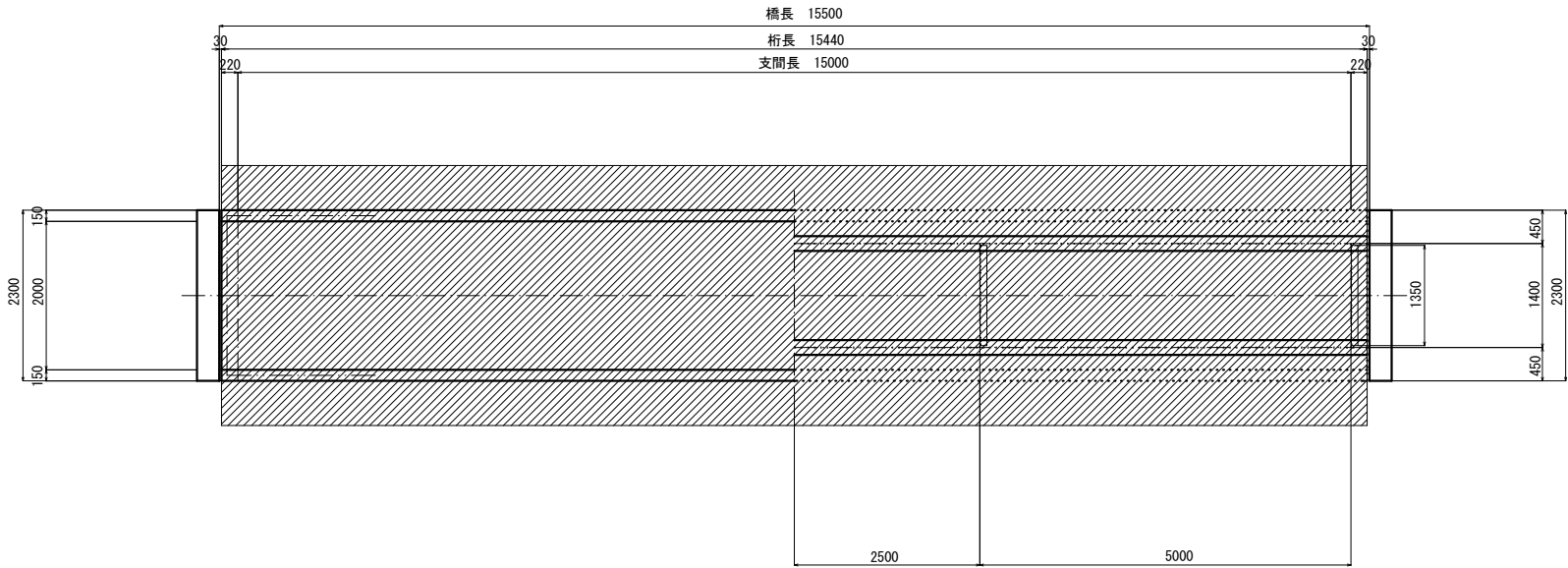
側面図 S=1:50



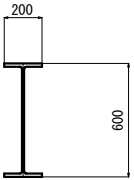
上部工断面図 S=1:100



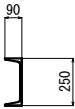
平面図 S=1:50



主桁 (2本)
H-600×200×11×17



横桁 (4本)
250×90×9×13



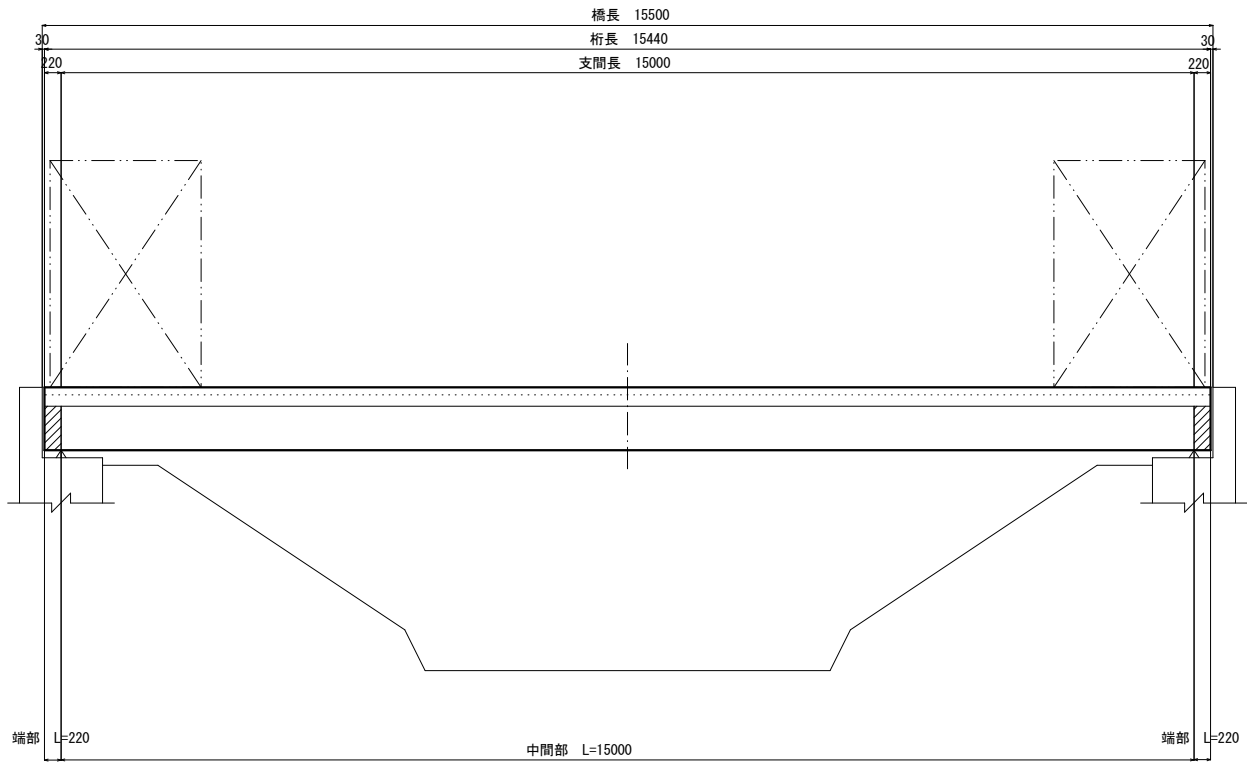
※占用面積A=3.50×15.44=54.04㎡

A1→A3に50%縮小印刷

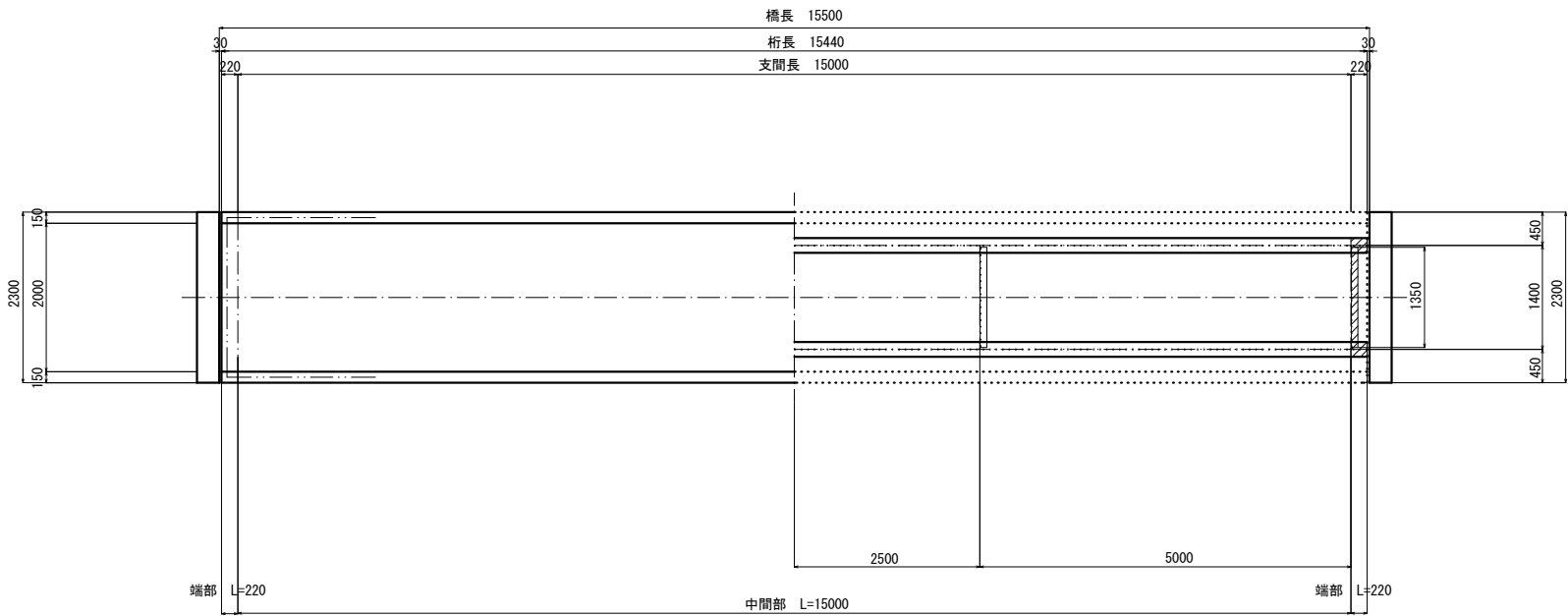
工事名	橋梁修繕工事(脇田橋)		
図面名	仮設工一般図		
作成年月日	2026年8月		
縮尺	図示	図面番号	3/4
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

剥離要領図

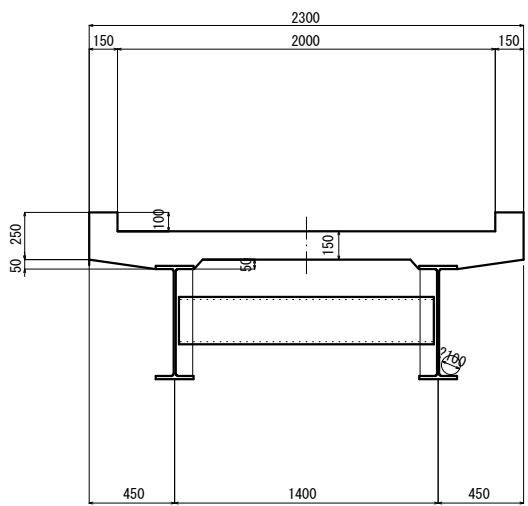
側面図 S=1:50



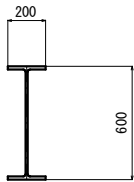
平面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:20



主桁
H-600×200×11×17

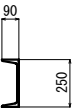


中間部
剥離面積
a=1.78 m2/m



端部
剥離面積
a=0.77 m2/m

横桁
250×90×9×13



中間部
剥離面積
a=0.84 m2/m

端部
剥離面積
a=0.43 m2/m

A1→A3に50%縮小印刷

工事名	橋梁修繕工事(脇田橋)		
図面名	剥離要領図		
作成年月日	2026年8月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

参

考

図

書

施工単価表

頁0 -0001

塗膜除去工(バキュームブラスト工法)
有害塗膜

V000000100
時間的制約なし、小規模

主桁

単第0 -0001 表

50

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	3.13	人			
橋りょう塗装工	9.39	人			
普通作業員	3.13	人			
VBシステム搭載車両 3tトラック ブラストマシン2台搭載	3.13	台			
バキュームブラスト機 ニューマブラスター FD0-F3XA	6.26	台			
エアードライヤー RAX-37SE-B	3.13	台			
コンプレッサー PDS185S 50馬力	3.13	台			
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排2 定格容量(50/60Hz)20/25kVA	3.13	日			
燃料費	3.13	日			単第0-0002 表
材料消耗品費	50	m2			単第0-0003 表
ペール缶(廃材回収) 20L 天蓋取り外し式バンドタイプ フタ・バンド付	50	個			主桁
*** 合計 ***	50	m2			

施工単価表

頁0 -0002

塗膜除去工(バキュームブラスト工法) 有害塗膜

V000000100

單第0 -0001 表

時間的制約なし、小規模

主桁

50

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0003

燃料費

V000000200

單第0 -0002 表

目 当 り

[illegible]

施工単価表

材料消耗品費

V000000300

単第0 -0003 表

頁0 -0004

主桁

1

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アルミナ研掃材 フジランダムA	15	kg			
ガン本体 SA81-2510	0.004	個			
リングブラシ SA86-0101	0.04	個			
ディフューザー SA81-4005	0.04	個			
ボロンノズル SA21-5304	0.004	個			
チップホルダー SA31-3015	0.004	個			
ブラストホース SA85-1107	0.002	本			
耐摩耗ホース S3322-1002A	0.002	本			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0005

塗膜除去工(バキュームブラスト工法)
有害塗膜

V000000400

単第0 -0004 表

時間的制約なし、小規模

横桁

50

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役	4.06	人			
橋りょう塗装工	12.20	人			
普通作業員	4.06	人			
VBシステム搭載車両 3tトラック ブラストマシン2台搭載	4.06	台			
バキュームブラスト機 ニューマブラスター FD0-F3XA	8.13	台			
エアードライヤー RAX-37SE-B	4.06	台			
コンプレッサー PDS185S 50馬力	4.06	台			
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型)・排2 定格容量(50/60Hz)20/25kVA	4.06	日			
燃料費	4.06	日			単第0-0002 表
材料消耗品費	65	m2			単第0-0003 表
ペール缶(廃材回収) 20L 天蓋取り外し式バンドタイプ フタ・バンド付	65	個			主桁
*** 合計 ***	50	m2			

施工単価表

頁0 -0006

塗膜除去工(バキュームブラスト工法) 有害塗膜

V000000400

單第0 -0004 表

時間的制約なし、小規模

横桁

50

m2	当り
----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

**足場工
防護工、シート張防護工含む**

V000000600

單第0 -0005 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0006 表

1

m2

当り

桁高1.5m未満

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

足場工（朝顔）（床版補強工）

S3030013

单第0 -0007 表

m 2 当り

兩側朝顔

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0008 表

板張防護工

兩側朝顔

1

m 2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0009 表

シート張防護工

兩側朝顔

m 2 当り

[illegible]

施工単価表

環境対策機材

V000000700

単第0 -0010 表

頁0 -0012

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集塵装置 12m3/min	1	台			
負圧集塵装置用1次フィルター	4	枚			
負圧集塵装置用2次フィルター	1	枚			
負圧集塵装置用チャコールフィルター	1	枚			
負圧集塵装置用HEPAフィルター	1	枚			
吸気用ダクト 10m/本	6	本			
排気用ダクト 100m/本	1	本			
真空掃除機	2	台			
真空掃除機用1次フィルター	2	枚			
真空掃除機用2次フィルター	2	枚			
真空掃除機用チャコールフィルター	2	枚			
真空掃除機用HEPAフィルター	2	枚			

施工単価表

頁0 -0013

環境対策機材

V000000700

單第0 -0010 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

安全衛生保護具

V000000800

単第0 -0011 表

頁0 -0014

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電動ファン付呼吸用保護具 全面マスク	5	個			
電動ファン付呼吸用保護具 フィルター	80	個			
電動ファン付呼吸用保護具 充電器	5	個			
電動ファン付呼吸用保護具 充電池	5	個			
化学防護服	80	個			
化学防護手袋	80	双			
化学防護長靴	5	足			
シューズカバー	80	足			
*** 単位当たり ***	1	式			

§ 1. 数量総括表(脇田橋)

項目		単位	数量	備考
塗装剥離	主桁	m2	54	
	横桁	m2	3	
足場	吊足場	掛m2	35	必要橋面積
	朝顔	掛m2	35	必要橋面積
		掛m2	136	
防護工	防護工	掛m2	35	必要橋面積
		掛m2	267	
	ばく露対策	式	1	

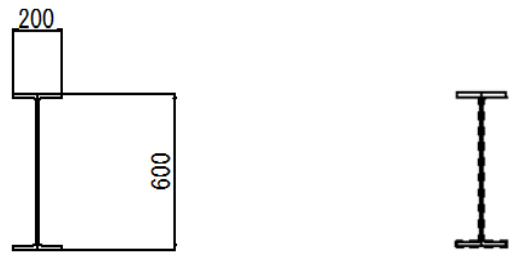
§ 2. 塗装剥離

1. 単位数量

(1) 主桁

1) 中間部

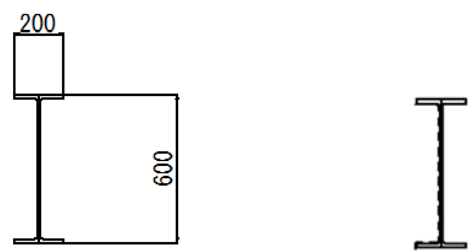
主桁
H-600×200×11×17



	幅 (mm)	個所	面積
上フランジコバ面	17	2	34
上フランジ下面	94.5	2	189
ウェブ	566	2	1132
下フランジ上面	94.5	2	189
下フランジコバ面	17	2	34
下フランジ下面	200	1	200
合計			1778

2) 端部

主桁
H-600×200×11×17

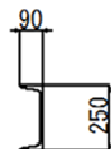


	幅 (mm)	個所	面積
上フランジコバ面	17	0	0
上フランジ下面	94.5	1	94.5
ウェブ	566	1	566
下フランジ上面	94.5	1	94.5
下フランジコバ面	17	1	17
下フランジ下面	200	0	0
合計			772

(2) 横桁

1) 中間部

横桁
250×90×9×13



		幅 (mm)	個所	面積
上フランジ上面		90	1	90
上フランジ下面		81	1	81
ウェブ		250	2	500
下フランジ上面		81	1	81
下フランジ下面		90	1	90
合計				842

2) 端部

横桁
250×90×9×13



		幅 (mm)	個所	面積
上フランジ上面		90	1	90
上フランジ下面		81	0	0
ウェブ		250	1	250
下フランジ上面		81	0	0
下フランジ下面		90	1	90
合計				430

2. 延長

(1) 主桁

	長さ(m)	個所数	延長(m)
中間部	15.00	2	30.00
端部	0.22	4	0.88

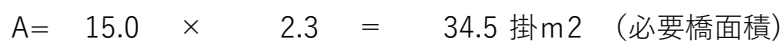
(2) 横桁

	長さ(m)	個所数	延長(m)
中間部	1.35	2	2.70
端部	1.35	2	2.70

3. 剥離面積

		単位数量	延長	剥離面積
		(m ² /m)	(m)	(m ²)
主桁	中間部	1.778	30.00	53.34
	端部	0.772	0.88	0.68
合計				54.02
横桁	中間部	0.842	2.70	2.27
	端部	0.430	2.70	1.16
合計				3.43

1. 吊足場(必要橋面積)


$$A = 15.0 \times 2.3 = 34.5 \text{ 掛m}^2 \text{ (必要橋面積)}$$

$$A = 15.44 \times 3.9 \times 2 + \frac{1}{2} \times (15.4 + 11.0) \times 0.6 \times 2 = 136.3 \text{ 掛m}^2 \text{ (朝顔面積)}$$

防護工は、橋梁下面、アサガオ部分、桁端部、橋梁上面とする。

$$A = 15.0 \times 2.3 = 34.5 \text{ 掛m}^2 \text{ (必要橋面積)}$$

	幅		長さ		高さ		個所		
橋梁下面	3.5	×	15.5					=	54.3
アサガオ								=	136.3
桁端部	3.5			×	3.1	×	2	=	21.7
橋梁上面	3.5	×	15.5					=	54.3
合計									266.6 m ² (防護部面積)